

「関西生コンを支援する会」が結成（4/15）

共同代表に鎌田慧、宮里邦雄氏ら



4月15日、「関西生コンを支援する会」が結成された。会場の参議院議員会館には70人を超す参加者がつめかけ、立ち見する人もいた。

午前中の結成総会は鈴木剛さん（全国ユニオン会長）の司会ではじまり、勝島一博さん（平和フォーラム事務局長=写真中央）が2月から大阪地裁への申し入れや裁判傍聴、記者会見、滋賀県警・滋賀地

検、大津地裁への申し入れ、記者会見などにとりくんできた経過を報告。会の名称、所在地、活動目的、役員を提案した。（別紙）

その後、よびかけ人の宮里邦雄弁護士（元日本労働弁護団会長）が発言。「その規模といい、組合脱退を執拗に強いる捜査のやり方といい、かつてない異常な弾圧だ。建設現場の法令遵守を求めるコンプライアンス活動を”軽微な不備に因縁を付け”などとして起訴しているが、組合の活動に因縁を付けているといたい。1870年代のイギリスでは団結禁止法が猛威を振るったが、その再来ともいえるのではないのか。法的にも政治的にも社会的にも支援を広げる必要がある。」と訴えた。

さらに、内田雅敏弁護士（戦争をさせない1000人委員会事務局長）、竹信三恵子（ジャーナリスト）、小川隆太郎弁護士らが発言。提案された「支援する会」の申し合わせ事項を全体の拍手で承認して終了した。

昼からは「報告集会」に切り替え、関西生コン弁護団の位田浩弁護士から関西生コンの運動の特徴と弾圧事件の概要について詳細な報告、七牟礼時夫・関西生コン支部副委員長から現状報告を聞いた。

「関西支援する会」は今後、刑事裁判の進行状況や各地における支援活動の広がりを伝えるニュースを発行することにしており、結成集会における宮里弁護士らの発言は、近く発行される第1号に掲載されることになっている。

2019年4月15日

「関西生コンを支援する会」

1. 名称と所在地

この会は、「関西地区生コン支部への不当弾圧に対する戦いを支援する会」（略称・関西生コンを支援する会）といい、事務局を東京都千代田区神田駿河台3-2-11 連合会館 フォーラム平和・人権・環境内に置く。

2. 目的と活動

(1) この会は、次に目的を実現するために活動する。

①全日建関西地区生コン支部の役員・組合員らに対する不当な長期勾留と接見禁止の即時中止および保釈、

②組合つぶしを目的とした、憲法28条・労働組合法1条2項に違反する不当捜査の即時中止、

③公正かつ迅速な裁判による無罪判決の追求。

(2) この会の具体的活動は以下のとおりとする。

①緊急署名活動や関係機関への要請活動活動

②集会開催、ニュース発行など広報・宣伝活動

③裁判闘争支援のためのカンパ活動

④その他関連事項

3. 役員

共同代表 鎌田 慧 (ルポライター)

佐高 信 (評論家)

宮里邦雄 (弁護士)

海渡雄一 (弁護士)

内田雅敏 (弁護士)

藤本泰成 (フォーラム平和・人権・環境共同代表)

菊池 進 (全日建委員長) ほか

事務局長 勝島一博 (フォーラム平和・人権・環境事務局長)

事務局次長 小谷野毅 (全日建書記長)